


# もしもに備える住まい [防災]

Activate Happiness

もっと生き活きと、  
豊かなくらしのご提案



地震や豪雨などが増えている昨今、  
自然災害はいつ自分にも降りかかるかもしれません。  
しかし、実際にはなかなか準備ができていないと  
お悩みの方も多いのではないのでしょうか？  
家を建てるタイミングは「もしもに備える」絶好の機会です。  
ぜひ、具体的に考えてみましょう。

**「備えができていない人」は、どこでつまづいている？**

Q 災害への備えができていない理由として最も近いものは？  
n=1,421 (備えができていない人)

具体的に何から始めればよいかわからない	31.0%
お金がかかる	18.1%
準備が面倒	12.4%
特に始めるきっかけがない	14.8%
備蓄スペースがない	10.3%
その他	13.4%

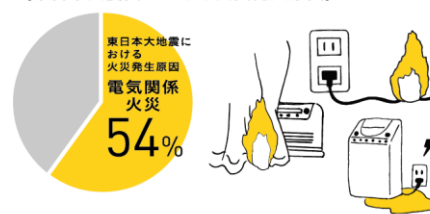
**✓ PICK UP!**  
「何を」「いつから」  
備え始めたらいいのかわからない人が4割以上も！

※パナソニック防災意識調査「もしもの備え白書」 対象者：全国の20～69歳男女計2,000人(内1,000人が5時間以上の停電経験者) / 調査期間：2021年1月20日(水)～22日(金) / 調査手法：インターネット調査

## 01 通電火災を未然に防止、住まいや街を守るブレーカー

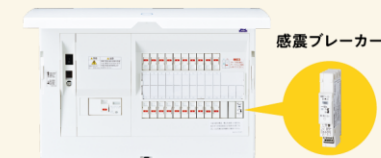
大きな地震が起こると気が動転し、ブレーカーを切るという基本的な行動も難しくなります。強制的に電気を断つブレーカーを選びましょう。

〈東日本大震災における火災発生原因〉



出典：内閣府「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」より

地震あんしんばん



- 震度5強以上で自動OFF
- 避難時、ブレーカーを気にせず避難できる

通電火災を防ぐ

地震あんしんばん

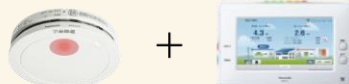


## 02 火災時に、スムーズな避難をサポート

住宅火災による死者数は「高齢者」の割合が高く、原因の多くは「逃げ遅れ」です。  
火災を検知すると、火元を家中にお知らせしてくれる「連動型」がおすすめです。

ワイヤレス連動型  
住宅用火災警報器  
(AISEG連携機能付)

AISEG2



- 火災時、火元を家中にすばやくお知らせ
- 火災時、ほのかなあかりで避難をサポート
- 火災、電池切れ、故障、交換時期等を、スマートフォンに知らせてくれるので安心

もしもの火事に、避難をサポート

ワイヤレス連動型火災報知器



## 03 いつものあかりを、もしもの備えに

夜間の停電時、真っ暗な部屋の中の移動はたいへん危険です。  
普段はナイトライト、停電時は保安灯に、そして非常時は携帯電灯に早変わり。



ハンディホーム保安灯



- 普段は便利な足元灯として活躍
- 停電時は自動で点灯する保安灯
- 取り外せば非常時も安心な携帯電灯に

携帯電灯になるナイトライト

ハンディホーム保安灯



# もしもに備える住まい [防災]

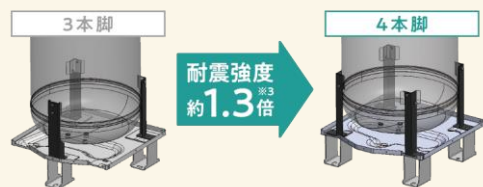
Activate Happiness

もっと活き活きと、  
豊かなくらしのご提案

## 04 普段は快適・省エネな給湯機が、万一の災害時に暮らしを救う

災害による断水時、水やお湯が使える貯水タンクとして活躍します。  
4本脚の高い耐震設計で、もしもの揺れにも備えます。

震度7相当<sup>※1</sup>にも耐える4本脚



断水時でも トイレが流せる

ポリタンク 20L 18個分  
※貯湯ユニット370Lの場合

停電時でも お湯が出る

※ふる自動・追い炊き、タンクの沸き上げ等はできません。

貯水タンクにもなるエコキュート  
エコキュート



※1: 試験条件: 2013年6月以降発売の角型モデル370L・460L貯湯ユニットにおいて  
※2: 試験条件: JMA神戸波120%にて加振(当社調べ)。設置状況等によって異なります。  
※3: 試験条件: 満水の機器を所定の方法にて固定し、重心位置を弱軸方向へ連続的に荷重を加えたとき、破損及び著しい変形が生じるこのときの最大荷重を測定。HE-KU37FQとHE-KU37GQとの比較。

## 05 日常は創って使う電気、万が一の災害時は頼れる電気

気象警報の発令と連動して、AiSEG2が自動で蓄電池への充電やエコキュートの沸き上げを調整し、停電に備えてくれます。長引く停電、避難できない状況など、自宅待機を想定した備えが重要です。

日 夜

停電

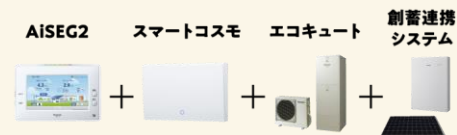
パナソニックなら

気象警報が発せられると

あらかじめ自動で「充電」や「湯沸かし」

午前・午後で蓄電池の電気を使ってしまう

使いたい時に蓄電池の残量がない



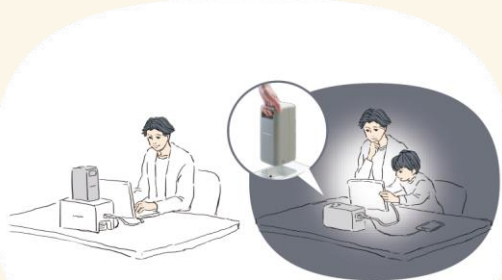
- 気象警報と連動して設備をコントロール
- AiSEG2が「もしも」を想定して、電気を備える
- 停電時、蓄電池の残量が見えるので安心

もしもに備える機能  
AiSEG2



## 06 いつもの便利に、もしもの備えに、次世代型バッテリー

充放電器から取り外して持ち運べる、重さ約3kgのコンパクト設計のバッテリー。  
平常時はリモートワーク時の電源確保、停電時は最低限の電力を供給します。



停電時に使いたい機器へ電力供給  
<使用例>

スマートフォン (12Wh) 約25台分 <sup>※</sup> <small>※イーブロック単体のUSB出力の場合 有線充電器のUSB出力の場合は約3台分</small>	卓上照明 (12W) 約23時間
ノートパソコン (51Wh) 約5時間 <sup>※</sup> <small>※PCの有線電源を使用せず、PCの定格電力 で出力し続けられる場合</small>	モニター (32W) 約8時間

●持ち運べて、必要なときに必要なだけ使える。

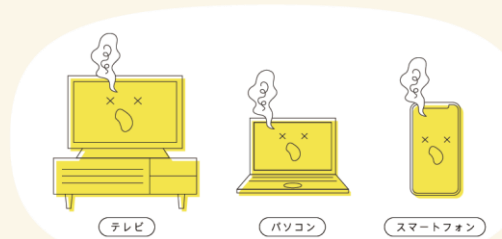
持ち運べる小型バッテリー  
e-block (イーブロック)



## 07 雷から、大切な家の電気機器やデータを守る

雷が直撃しなくても、家庭の電気機器が壊れる場合があります。  
雷サージを回避するには、分電盤の対策が必要です。

被害を受けやすい電気機器は?



かなりあんしん ばん



- 電線や電話線からくる「誘導雷サージ」を回避
- 地面を伝ってアースからくる「逆雷サージ」を回避

雷からくらしを守る  
かなりあんしん ばん

